

令和4年4月8日

(一社)日本実験動物技術者協会会員 各位

関西支部長 三上崇徳 (川崎医科大学)
九州支部長 中村直子 (熊本大学)
東海北陸支部長 廣江 猛 (生理学研究所)

三支部 (関西・九州・東海北陸) 交流会の開催について

平素は(一社)日本実験動物技術者協会運営にご理解とご協力いただき感謝申し上げます。

2020年に続き、2021年も新型コロナウイルス感染症は収まることなく、各支部活動に大きな支障を与えました。皆さまに十分な学びの機会を提供出来ておりませんこと、痛恨の極みです。その様な中で「今出来ること」を検討し、この度新支部長体制となった関西・九州・東海北陸の三支部合同でオンライン交流会(勉強会)を企画することに致しました。

三支部に限らず、他支部も含めて多くの皆様に参加をご検討いただきたく、どうぞ宜しくお願い致します。

記

開催日時: 令和4年5月14日(土) 13:00~17:15 (12:50 zoom 受付開始)

開催方法: ZoomによるWebセミナー

参加資格: (一社)日本実験動物技術者協会一般会員(所属支部不問)

参加費: 無料

タイムテーブル(仮):

13:00~13:05 開会挨拶

13:05~14:50 シンポジウム1 「微生物統御(物品の滅菌-検査方法、搬入SOPの作成-運用、陽性事例報告-対処等)」

1. 免疫不全動物生産施設における微生物管理

丸山 滋先生(ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン株式会社)

2. マウスの微生物モニタリングに関する見直し -大阪大学医学部附属動物実験施設の事例紹介-

山田 梓先生 (元 大阪大学医学系研究科、現 ラビックス株式会社)

3. 熊本大学生命資源研究・支援センター動物資源開発研究施設本館における微生物統御と事例報告
中村 直子先生 (熊本大学)

4. 大学附属施設における他施設からの動物搬入に伴う感染症事例と対処について

羽根田 千江美先生 (藤田医科大学)

14:50～15:00 休憩

15:00～17:10 シンポジウム 2 「施設/新築～改築時～工事中～稼働後 あれこれ話」

1. 動物実験施設の設計・改修に関する無料相談を通して気付いた事、見えたもの

紺屋 好美先生 (株式会社ケー・エー・シー 技術推進部 技術サービスグループ)

2. 研究所移転、AAALAC 対応、COVID19、大変だったが貴重な体験

坂本 雄二先生 (千寿製薬株式会社)

3. 久留米大学 新動物実験センターの紹介～旧施設との比較～

岡部 百合先生 (久留米大学)

4. 大学における動物施設改修について ～設計・建築・設備導入・運用で気を付けるべきこと～

廣江 猛先生 (生理学研究所)

5. 施設新築しました。できればもう一度経験させてください。

塩谷 恭子先生 (国立循環器病研究センター)

17:10～17:15 閉会挨拶

申込方法：

下記 URL (google フォーム) よりお申込みください。登録が完了しましたら、自動返信メールが届きます。なお、メールアドレスは (一社) 実験動物技術者協会に登録されているものを入力してください。それを以て、本人確認 (会員確認) を致します。もし (一社) 実験動物技術者協会に登録されているメールアドレスがご不明な場合には、下記事務担当 E-mail までご連絡ください。

5月11日 (水) を目安として、関西支部事務局より要旨、zoom アドレス、留意事項等をご登録のメールアドレスへ順次ご案内させていただきます。メールが届かない場合には、お手数をおかけいたしますが下記事務局 E-mail までご一報ください。

なお、参加申込は大会を視聴する方全員が行ってください。例えば、1 台の PC で複数名が視聴する場合でも、視聴者全員の申込をお願いいたします。

申込先：

<https://forms.gle/RMJA1NYcorEfNjdF8>

申込期間：

オンライン登録開始 令和 4 年 4 月 8 日 (金)

オンライン登録終了 令和 4 年 5 月 6 日 (金)

留意事項：

- 1)パソコン、スマートフォン、どちらも視聴可能ですが、光回線、Wi-Fi、データ無制限プラン等の安定したインターネット環境下での参加をお勧め致します。
- 2)その他不明な点等ございましたら下記事務担当までお気軽にご連絡ください。

事務担当（関西支部事務局）：

岡山大学自然生命科学研究支援センター 動物資源部門内

石原 すみれ、矢田 範夫（岡山大学）

橋本 春菜（島根大学）、南 世利奈（川崎医科大学）

TEL:086-235-7445 FAX:086-235-7433

事務局 E-mail ;kansaimail@jaeat-kansai.org

以上

※主筆：交流会主幹 関西支部長 三上崇徳